

密着取材!

# 消化器科医師の1日

~当院スタッフの「とある1日」をご紹介します~



かさい とよたか  
**葛西 豊高**

消化器科医師  
(消化器科 副部長)

## 当院の消化器科の特色

当地域では消化器疾患の精密検査や専門診療をできる医療機関は限られています。

当院消化器科では内科・外科・救急診療科の協力のもと、数多くの緊急疾患（消化管出血・急性胆管炎・急性膵炎等）に対応しています。

また地域の基幹病院として、高難度の内視鏡検査・治療にも積極的に取り組んでいます。

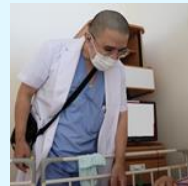
## 8:40~ 内視鏡室カンファレンスに参加 (内視鏡検査・治療等の準備)

内視鏡室スタッフによる申し送りに参加し、その日に行われる内視鏡検査・治療の流れを確認します。



## 8:30~ 病棟回診を実施

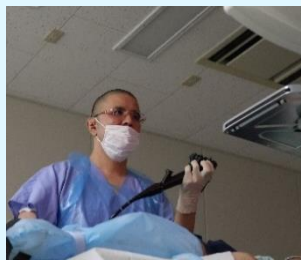
入院中の患者さんのもとへ赴き、問診と身体診察を行い、状態を確認します。



## 13:00~ 内視鏡検査・治療の実施

午前中に外来検査を行い、午後に入院治療を実施しています。

### ■ 1例目：ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）



早期の大腸がん患者さんに、ESDをおこないました。これは、内視鏡でがんの病変部分を切除する治療法で、高度な操作技術を要しますが、患者さんの体への負担は少なく済みます。

### ■ 2例目：ERCP（内視鏡的逆行性膵胆管造影）

総胆管結石症の患者さんに内視鏡治療をおこないました。この治療では、まず初めに、内視鏡の先端から出るカテーテルを介して総胆管に造影剤を注入し、X線撮影をします。



そして、そこで得られた情報をもとに、バルーンやバスケットを用いて総胆管結石を除去します。

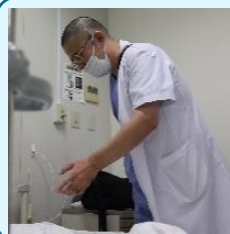


## 随時 他診療科医師から症例相談

他診療科医師から、消化器疾患に関する相談があったため、消化器科の専門的立場からアドバイスをおこないます。

## 16:00~ 救急患者対応

この日は消化管出血の患者さんが救急搬送されたため、救急外来に向かい、鑑別診断の後、治療にあたりました。



## 17:00~ 消化器科カンファレンスに参加

週に1回、消化器科医師が集まり、入院および外来の消化器疾患の患者さんの症例を検討し、治療方針を決定していきます。



## Pick Up 内視鏡検査・治療に情熱を注いでいます!

当院消化器科では、ESDやERCPの他にも多岐にわたる内視鏡検査・治療をおこなっています。今回はその一部をご紹介します。その他の検査・治療の詳細については当院の消化器科のホームページもぜひご覧になって下さい。

### ■ 超音波内視鏡検査 (EUS)

先端部分に超音波装置（エコー）が装着された内視鏡を胃や十二指腸まで入れて、その周辺にある臓器を観察する検査です。

体の表面からおこなうエコー検査と異なり、病変の至近距離で観察できるため、精密かつ詳細な画像評価が可能となります。

### ■ 超音波内視鏡下穿刺吸引法 (EUS-FNA)

超音波内視鏡（EUS）を使用して、病変の一部を採取する検査です。

従来の検査方法では、採取が困難であった部位からも病変を採取できるため、より正確な診断が可能となります。

消化管粘膜下腫瘍や膵腫瘍が主な対象です。